

2009年3月期決算説明会

2009年5月14日
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

目 次

1. 会社概要
2. 経営概況
3. 08年度 決算概要
4. 09年度 業績展望
5. 市場動向と当社の生産対応
 - (1)チタン
 - (2)多結晶シリコン
6. 結び

会社概要

2

(会社概要)

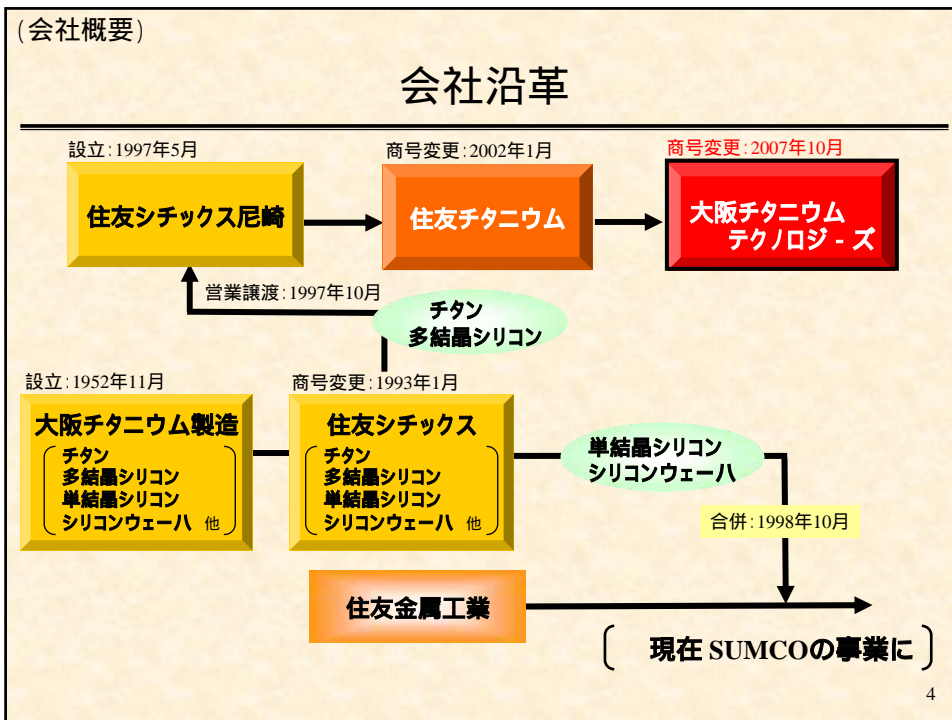
会社プロフィール

本社 : 尼崎市東浜町1番地
代表者 : 代表取締役社長 橘 昌彰
設立 : 1997年5月
大株主 : 住友金属工業 23.9%, 神戸製鋼所 23.9%
(2009年3月末)



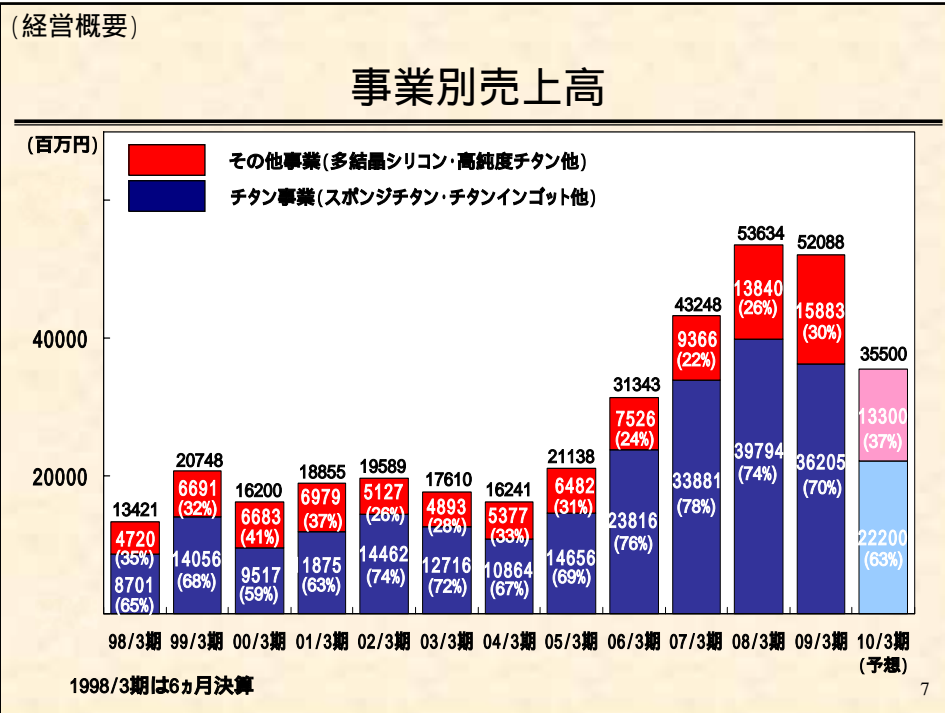
資本金 : 8,739 百万円(2009年3月末)
売上高 : 52,088 百万円(2009年3月期)
経常利益 : 14,173 百万円(2009年3月期)
当期純利益 : 8,247 百万円(2009年3月期)
事業内容 : 金属チタンに係わる「チタン事業」
半導体関連製品 及び 環境・エネルギー関連製品 etc.
の「その他事業」

3



経営概況

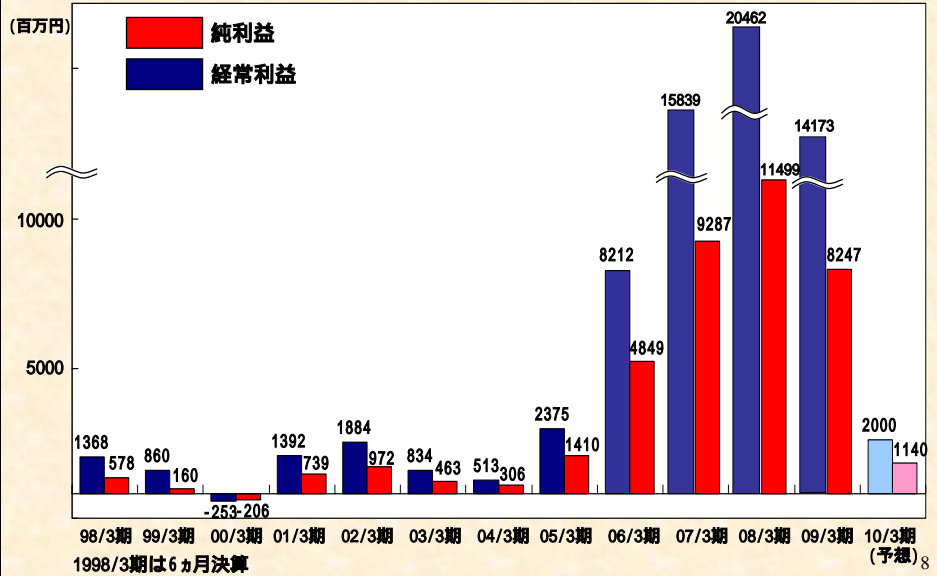
6



7

(経営概要)

経常利益・純利益



(経営概要)

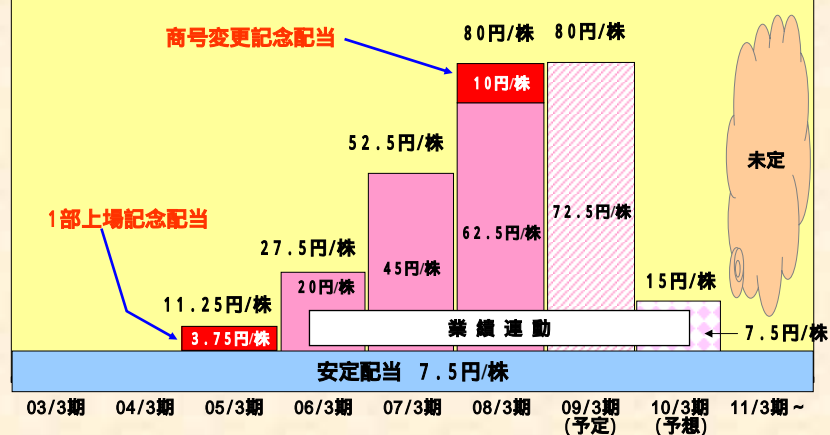
配当水準について

[比較の為 分割後の現株数ベースで表示]

<配当方針>

・目標配当性向 20%
(但し、ミニムム 年間7.5円/株の配当)

<配当水準>



(配当性向) (%) (57.3) (86.6) (28.3) (20.6) (20.8) (25.6) (35.7) (48.4)

9

2008年度(2009年3月期)

決算概要

10

(決算概要)

2008年度決算概要

	07年度	08年度			07年度 08年度
		上期	下期	計	
売上高	53634	27834	24254	52088	1545
営業利益	20961	9436	5257	14693	6267
経常利益	20462	9377	4795	14173	6289
当期純利益	11499	5424	2823	8247	3251
総資産	72319			96930	+ 24610 (期末)
純資産	42273			47250	+ 4977 (期末)
自己資本比率(%)	58.5			48.7	9.8 (期末)
1株当たり純資産(円/株)	1148			1284	+ 135 (期末)
EPS(円)	312			224	88
ROE(%)	30.4			18.4	12.0
ROS(%)	38.2			27.2	11.0
設備投資額(除く土地)	16706			30239	+ 13533
減価償却費(含む無形)	5779			10435	+ 4655

(百万円)

(為替レート) (115円/\$) (101円/\$)

11

(決算概要)

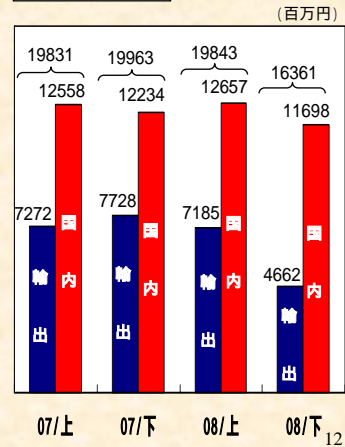
2008年度・売上高の概要

チタン事業 (07年度 39794百万円 08年度 36205百万円) 36億円減

- ・08年契約での価格改善の下
07年度に比べ 円高進展によるマイナスはあるものの
- 上期：・数量面においては 順調に推移
⇒ ほぼ前年度水準を維持
- 下期：・大巾かつ急激な世界的景気後退と
新型航空機の更なる納期の延期 etc } により
09/1からの輸出新規年間契約の
販売環境大巾悪化
- ・加えて 世界的景気後退により
B級スポンジの価格環境悪化
- ⇒ これらにより 前年度水準より大巾ダウン

< 販売減 36億円減の要因 >
数量減 34億円
価格UP 14億円 (展伸材用 +27、B級 13)
為替レト 16億円 (115 101 円/\$)

半期別売上高



(決算概要)

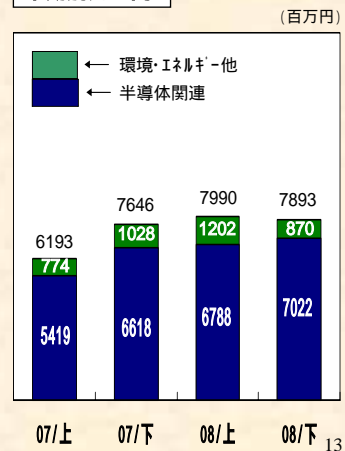
2008年度・売上高の概要

その他事業 (07年度 13840百万円 08年度 15883百万円) + 21億円増

- ・半導体関連 : 多結晶シリコンの価格改善
及び 生産能力増強が寄与
- ・環境・エネルギー関連 : 年度では拡販
しかし
世界的景気後退の影響により
下期は減少

< 販売増 21億円増の要因 >
数量増 8億円
価格UP 13億円
為替レト 0億円

半期別売上高



(決算概要)

2008年度・P/Lとその要因分析

当期純利益

	07年度	08年度			07年度 08年度	増減率
		上期	下期	計		
売上高	53634	27834	24254	52088	1545	2.9
営業利益	20961	9436	5257	14693	6267	29.9
営業外損益	498	58	461	520	21	
経常利益	20462	9377	4795	14173	6289	30.7
特別損益	1127	239	184	424	+ 702	
税前当期利益	19335	9138	4610	13748	5586	28.9
当期純利益	11499	5424	2823	8247	3251	28.3

(為替レート) (115円/\$) (106円/\$) (96円/\$) (101円/\$)

営業利益について	:	次葉参照				
営業外損益について	:	為替差損益	(07年度)	587	(08年度)	319
	:	休止固定資産減価償却費	(07年度)	㊦	(08年度)	173
特別損益について	:	固定資産除却損及び撤去損	(07年度)	873	(08年度)	406
	:	関係会社株式評価損	(07年度)	248	(08年度)	㊦

14

(決算概要)

2008年度・P/Lとその要因分析

部門別営業利益水準

07年度 (実績)		売上高		営業利益	
	チタン事業	39794	(42.1)	16750	
	その他事業	13840	(30.4)	4211	
	計	53634	(39.1)	20961	

() 内は対売上高比 (%)

08年度 (実績)		売上高		営業利益	
	チタン事業	36205	(24.8)	8993	
	その他事業	15883	(35.9)	5700	
	計	52088	(28.2)	14693	

() 内は売上高比 (%)

15

(決算概要)

2008年度・P/Lとその要因分析

営業利益の変動要因

07年度(実績) 20961百万円 08年度(実績) 14693百万円

63億円



(億円)

	合計	販売数量・構成	販売価格	レート	コスト
チタン事業	78	20	展伸材用 スポンジ価格 +27 B級スポンジ価格 13 } +14	(115 101円/\$) 1.2	償却費 4.7 他 1.3 } 6.0
その他事業	+15	+ 3	多結晶シリコン価格 +13	-	償却費 + 2 他 3 } 1
計	63	17	+27	1.2	償却費 4.5 他 1.6 } 6.1

16

(決算概要)

2008年度・B/S概要

「総資産」:前年度末比 24610百万円の増 (年度末 72319 96930百万円)

資産の部	流動資産 4392百万円増	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金の増 + 2169百万円 ・売上債権の減 + 2448百万円 ・棚卸資産の増 + 4508百万円 	
負債及び資本の部	固定資産 20217百万円増	
	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の増 + 19998百万円 → うちチタン 18153百万円 ・投資その他資産の増 + 219百万円 	
	負債の部 19633百万円増	
	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金の増 + 16550百万円 → 09/3E借入金残高 24350百万円 ・設備リース債務の増 + 5615百万円 ・未払法人税等の減 3272百万円 	
	純資産の部 4977百万円増	
	<ul style="list-style-type: none"> ・剰余金の増 + 5119百万円 ・有価証券評価差額金の減 117百万円 	

17

(決算概要)

2008年度・C/F概要

営業活動

(百万円)

	07年度	08年度			07年度 08年度
		上期	下期	計	
税前、償却前純利益	25114	13229	10954	24183	931
税支出	8021	4780	4189	8970	948
その他	2088	5706	7717	2010	+ 78
営業活動によるC/F	15004	14154	952	13202	1802

投資活動

有形固定資産の取得による支出	20711	18490	11999	30489	9778
設備投資(*1)	6528	5700	5092	608	5919
合併による支出	14182	12789	17091	29881	15698
その他	1803	-	-	-	+ 1803
その他	327	79	131	211	+ 115
投資活動によるC/F	16313	12869	17223	30093	13779

(*1)土地込み

財務活動

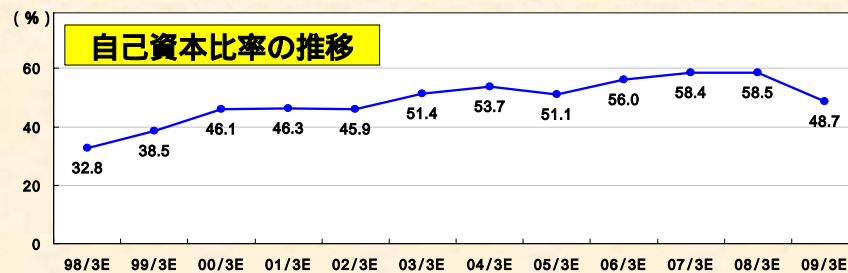
配当金	2383	1652	1477	3130	747
借入金増減	50	400	16950	16550	+ 16600
設備リース債務の増	-	-	5615	5615	+ 5615
他	2	0	0	0	+ 2
財務活動によるC/F	2436	2053	21088	19034	+ 21471

現金及び現金同等物増減	3761	776	2945	2169	+ 5930
-------------	------	-----	------	------	--------

18

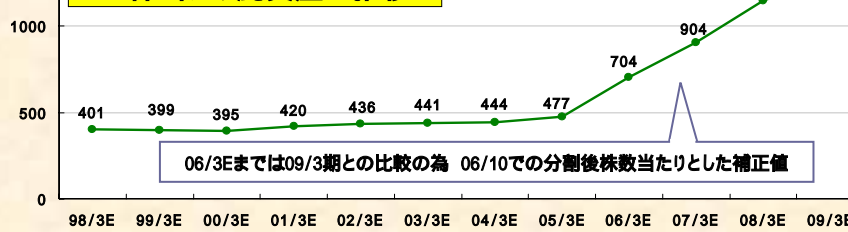
(決算概要)

参考



(円/株)

一株当たり純資産の推移



(注: 円未満切捨て)

19

2009年度(2010年3月期)

業績展望

(想定レート 95円/\$)

20

(業績展望)

2009年度・業績予想

当期純利益

(百万円)

	08年度	09年度(予想)			08年度 09年度
		上期	下期	計	
売上高	52088	16600	18900	35500	16588
営業利益	14693	1200	1900	3100	11593
営業外損益	520	600	500	1100	579
経常利益	14173	600	1400	2000	12173
特別損益	424	100	0	100	+ 324
税前当期利益	13748	500	1400	1900	11848
当期純利益	8247	300	840	1140	7107

(為替レート) (101円/\$) (95円/\$) (95円/\$) (95円/\$)

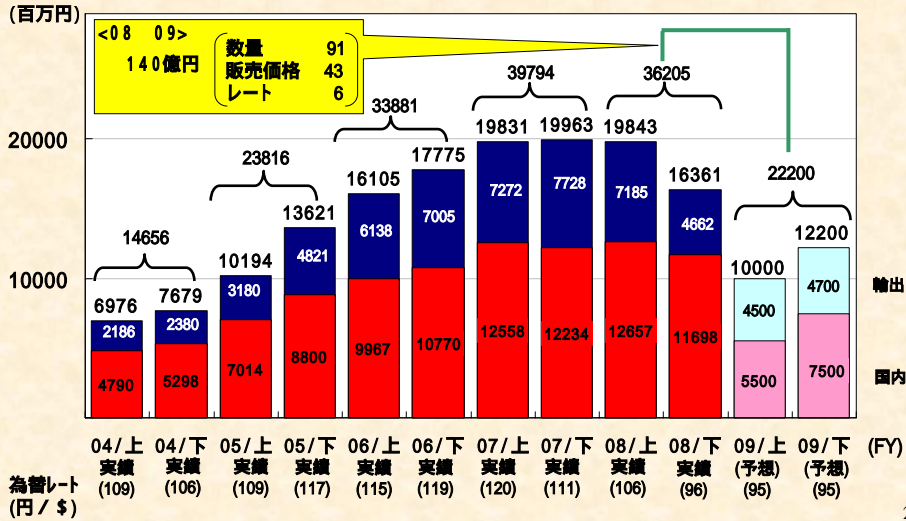
営業利益について : 次業参照
 営業外損益について : 為替差損益 (08年度) 319 (09年度) 100
 : 休止固定資産減価償却費 (08年度) 173 (09年度) 769
 特別損益について : 固定資産除却損及び撤去損 (08年度) 406 (09年度) 100

21

(業績展望)

2009年度売上高・チタン事業 (FY: 半期別)

・09年度: 「国内向けの数量大巾減」及び「価格ダウン」etcにより減少

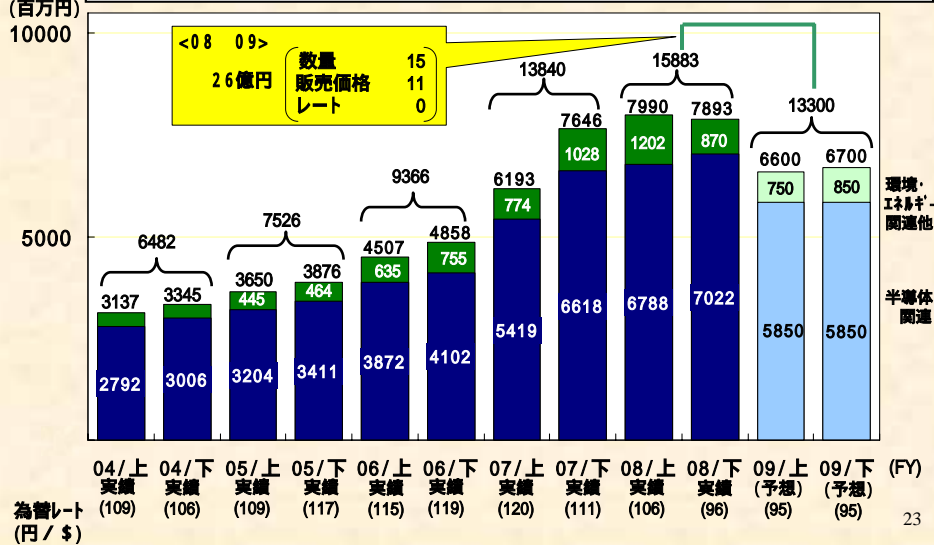


22

(業績展望)

2009年度売上高・その他事業 (FY: 半期別)

・09年度: 「半導体関連製品中の高純度チタンの数量大巾減」及び「価格ダウン」etcにより減少



23

(業績展望)

2009年度・営業利益

部門別営業利益水準

(百万円)

08年度 (実績)		売上高	営業利益
	チタン事業	36205	(24.8) 8993
	その他事業	15883	(35.9) 5700
	計	52088	(28.2) 14693

() 内は対売上高比 (%)

(百万円)

09年度 (予想)		売上高	営業利益
	チタン事業	22200	(3.2) 700
	その他事業	13300	(28.6) 3800
	計	35500	(8.7) 3100

() 内は売上高比 (%)

24

(業績展望)

2009年度・営業利益

営業利益の変動要因

08年度 (実績) 14693百万円 09年度 (予想) 3100百万円

116億円

(億円)

	合計	販売数量・構成	販売価格	レート	コスト
チタン事業	97	61	展伸材用 スラント価格 29 } 43 B級スラント価格 14 }	(101 95円/\$) 4	償却費 13 他 +24 } +11 (*1)
その他事業	19	14	多結晶シリコン価格他 11	-	償却費 +2 他 +4 } +6 (*2)
計	116	75	54	4	償却費 11 他 +28 } +17

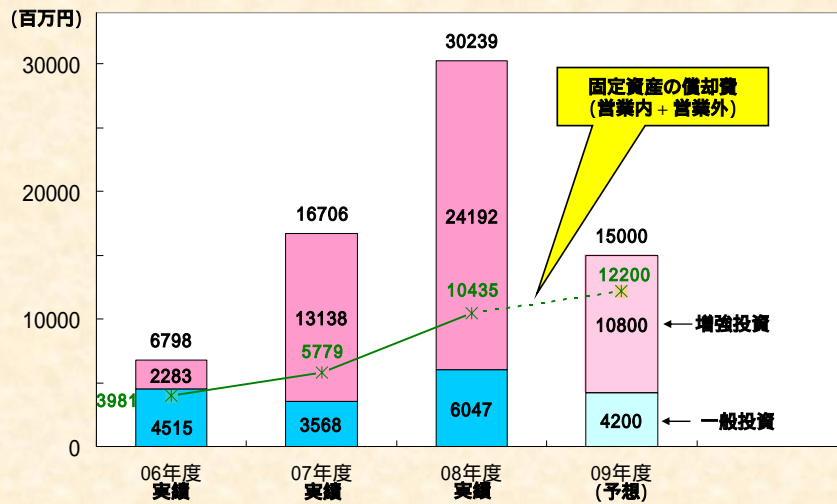
(*1) うち岸和田溶解工場コスト 10 (うち償却費 8) 億円

(*2) うち岸和田多結晶工場稼働準備コスト 8 億円

25

(業績展望)

[参考] 設備投資(土地除く)と償却費の水準



26

市場動向と当社の生産対応

- (1) チタン
- (2) 多結晶シリコン

27

(市場動向と当社の生産対応)

チタン

市場動向

国内向け展伸材スポンジの市場動向

輸出 航空機向けスポンジの市場動向

B級スポンジ(鉄鋼添加材向け)の市場動向

当社の生産対応

28

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-市場動向)

市場動向(概要)

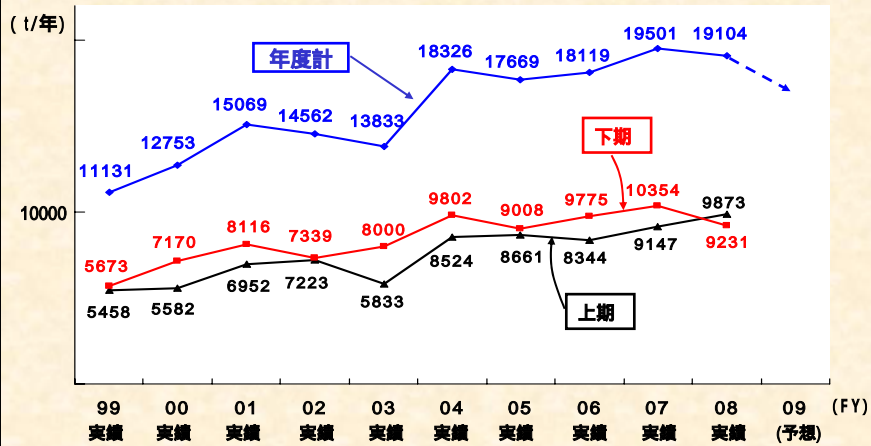
	08年度	09年度	10年度	11年度
日本のチタン展伸材市場 (国内向けスポンジの市場)	縮小(07年度比) 下期に入り 急激に縮小	更に縮小 (08年度比)	下期より回復へ (年度としては 08年度比マイナス)	拡大 (08年度比プラス)
海外の航空機用 チタン展伸材市場 (輸出向けスポンジの市場)	スポンジメーカー以降の 在庫過大化	(在庫調整圧力大)	(在庫調整圧力は 軽微に)	今後の拡大対応の為の 在庫不足顕在化
〔スポンジ需要 への 影響〕	年間契約の切替時より 在庫調整圧力も加わり スポンジ需要大市減 輸出:09/1~ 国内:09/4~		下期より 需要回復へ	在庫拡充需要も加わり 需要急拡大
日本の鉄鋼添加材市場 (B級スポンジの市場)	下期に入り 急激に縮小	更に縮小	回復に向うも その回復 ピッチは不透明	

29

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-国内向け展伸材スポンジの市場動向)

日本の展伸材出荷量

- ・ 08年度：下期：急激かつ大巾な景況悪化により 上期比減少
年度：上期時点にて予想された 21000t+ に対し 07年度以下の 19104t にとどまる
- ・ 09年度：08年度比 相当規模の減少懸念

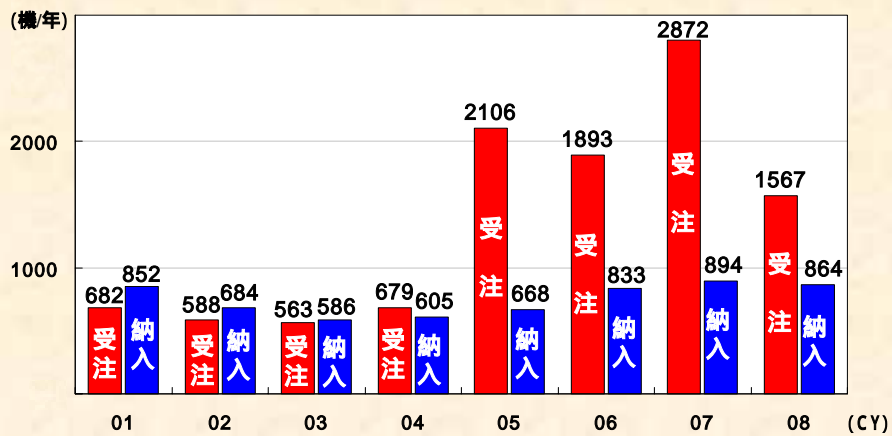


30

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-輸出航空機向けスポンジの市場動向)

民間航空機機の受注・納入機数 (ボーイング+エアバス)

- ・ 08年：07年比 受注機数は減少するも 依然 受注機数 > 納入機数
受注機数残は 更に拡大 (08/12Eの受注機数残 約7500機)



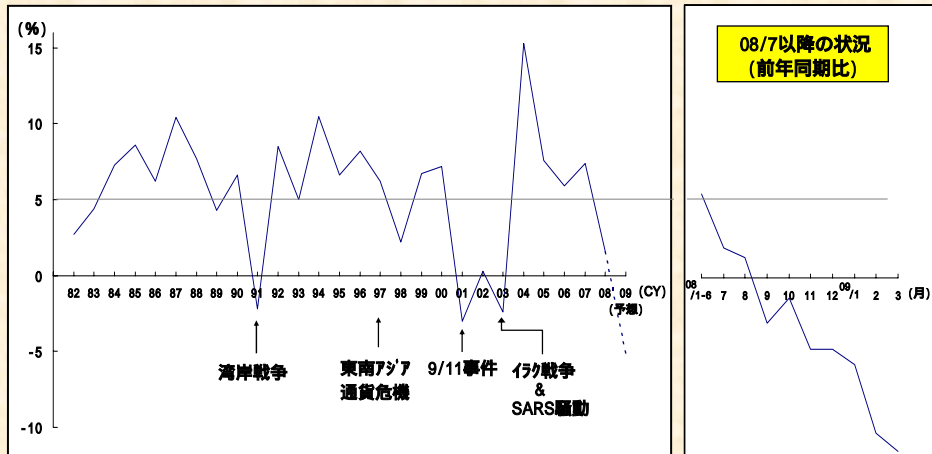
出典：日本航空機開発協会データより

31

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-輸出航空機向けスポンジの市場動向)

輸送量(有償旅客距離)の伸び率(対前年)

- ・ 08年：08/9より対前年マイナス成長に入り 対前年 +1%の成長にとどまる
- ・ 09年：ここ30年程 例のない 5%強のマイナス成長の見通し



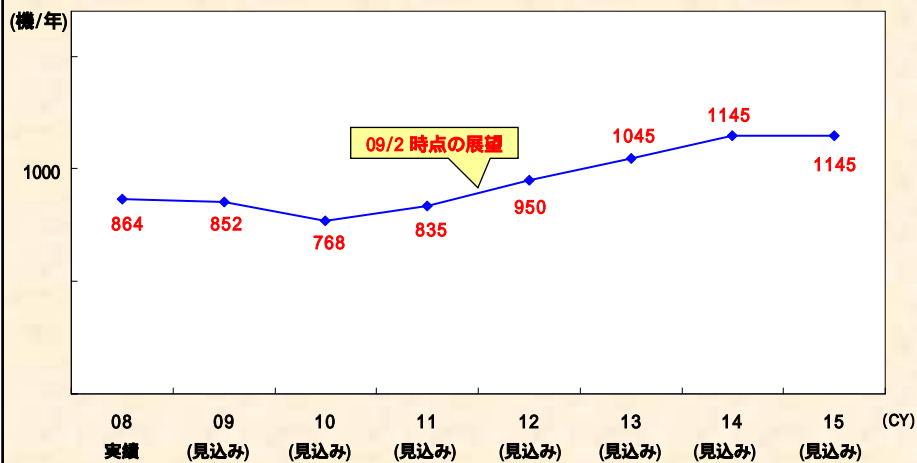
出典：IATAデータより

32

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-輸出航空機向けスポンジの市場動向)

民間航空機デリバリー機数展望 (ボーイング+エアバス)

- ・ 09~11年まで 06~08年実績並の800機レベルの納入で推移する見込み
- ・ 1000機レベルの納入に向かい出すのは 12年から



出典：Air Line Monitor より

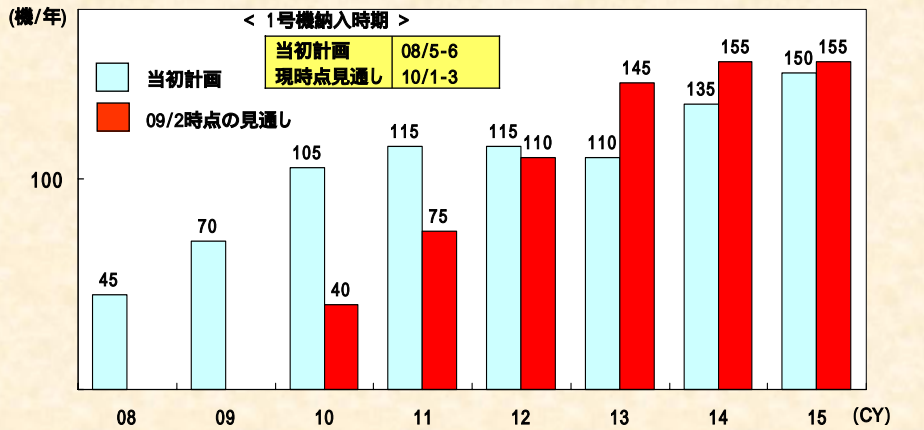
33

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-輸出航空機向けスポンジの市場動向)

「B787」のデリバリー機数展望

(当初計画 対 09/2 時点見通し)

- ・ 1号機のデリバリーは 2年遅れの10/1~3の見通し
- ・ 100機レベルのデリバリーに入るのは 2年遅れの12年の見通し



34

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-輸出航空機向けスポンジの市場動向)

[参考] 「B787」の1号機の納入時期 (ボーイング社発表による)

	1号機納入時期	08&09年の納入機数
当初計画	08 / 5 ~ 6	112機
(07/10発表) 1回目の変更	08 / 11 ~ 12	109機
(08/ 1発表) 2回目の変更	09 / 1 ~ 3	109機
(08/ 4発表) 3回目の変更	09 / 7 ~ 9	25機
(08/12発表) 4回目の変更	10 / 1 ~ 3	ゼロ

↓
当初計画比
ほぼ2年遅れ

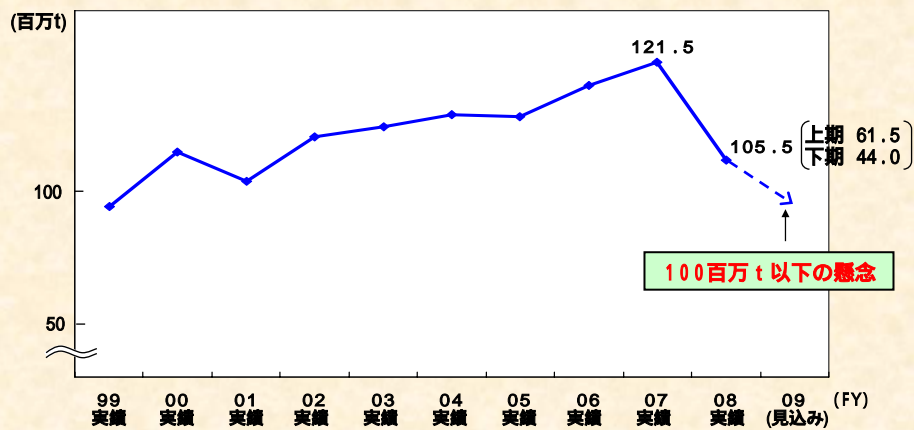
↓
10年の納入機数
発表せず

35

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-鉄鋼添加材向けスポンジの市場動向)

日本の粗鋼生産

- ・ 08年度：下期に急減し 前年度比 13%減
- ・ 09年度：08年度比 減少の見込み (1億トン以下となる懸念あり)



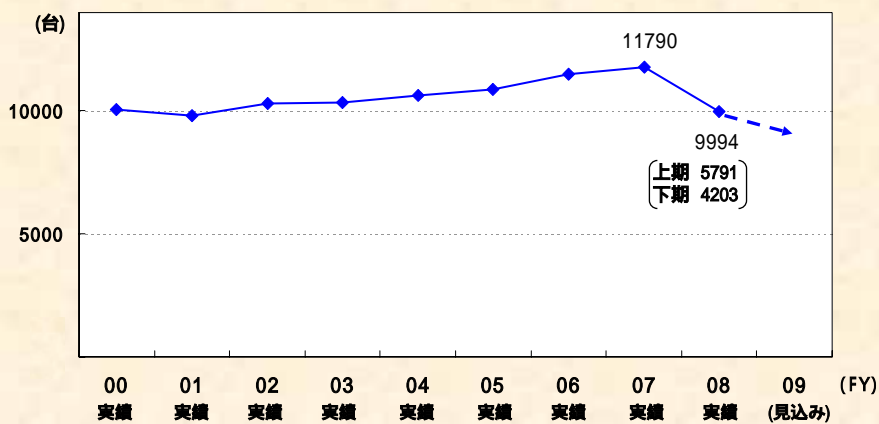
出典：日本鉄鋼連盟より

36

(市場動向と当社の生産対応 - チタン - 鉄鋼添加材向けスポンジの市場動向)

[参考] 日本の自動車生産台数

- ・ 08年度：下期に急減し 対前年度比 15%
- ・ 09年度：08年度比 減少の見込み



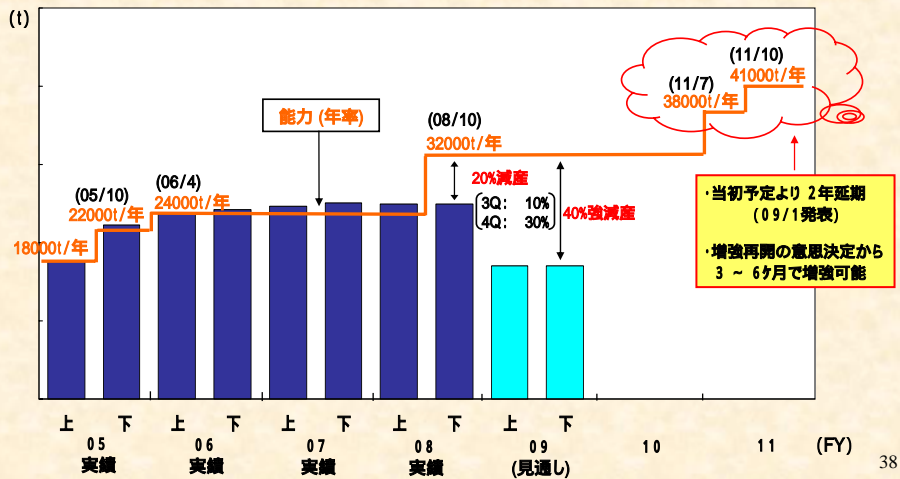
出典：日本自動車工業会より

37

(市場動向と当社の生産対応 - チタン-当社の生産対応)

当社の生産対応

- ・ 08/3Qより減産開始 逐次 減産中拡大
- ・ 09年度(見通し)は 08/10 の増強後能力(32000 t/年)比 40%強の減産に
- ・ 能力増強の2ndステップ(38000 t 化) 3rdステップ(41000 t 化)は 当初計画より2年延期



(市場動向と当社の生産対応)

多結晶シリコン

市場動向

半導体向けの市場動向

太陽電池向けの市場動向

当社の生産対応

(市場動向と当社の生産対応 - 多結晶シリコン-市場動向)

市場動向(概要)

	08年度	09年度	10年度	11年度
半導体用ウェ-ハ市場 Si純度:イレブンナイン市場 (当社の多結晶シリコン市場)	縮小(07年度比) 下期に入り 急激に縮小	更に縮小 (08年度比)	横ばい (08年度比マイナス)	拡大 (08年度比プラス)
		供給サイドに余力発生		供給サイドの余力感解消
太陽電池用ウェ-ハ市場 Si純度:シックスナイン市場	年初想定以上の 高率の拡大 (対前年 ほぼ倍増)	「毎年増加する新能力」からの 初期の安定調達不安の問題 (立上げ時期 安定品質 etc)		
多結晶シリコン全体	安定供給(高品質 納期対応 etc)可能 多結晶シリコンメーカーの市場は タイト (但し 06、07年度にみられた過熱感も 解消の見込み)			

40

(市場動向と当社の生産対応 - 多結晶シリコン - 半導体向けの市場動向)

シリコンウェ - ハ出荷面積(全世界)

- ・ 08年: 10~12月からの急激な減少により 対前年比 6%成長
- ・ 09年: 08年より減少の見込み

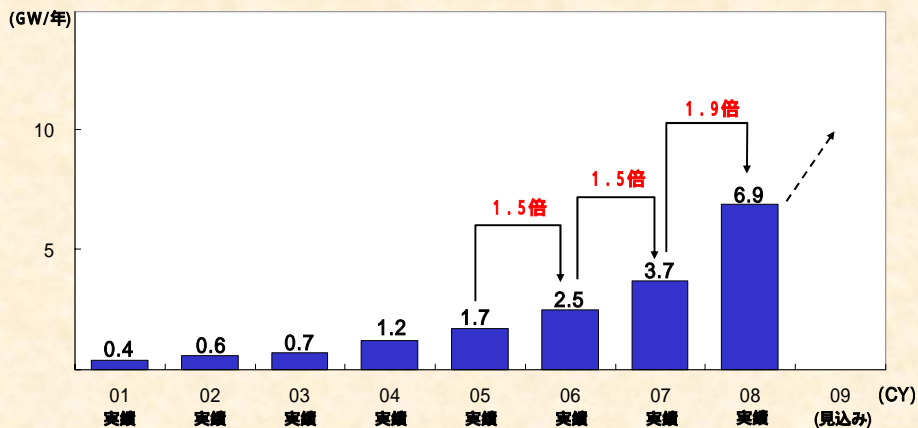


41

(市場動向と当社の生産対応 - 多結晶シリコン - 太陽電池向けの市場動向)

太陽光発電規模(全世界)

- ・ 08年：対前年比 ほぼ倍増
- ・ 09年：大巾増（1.5～2.0倍）の見込み



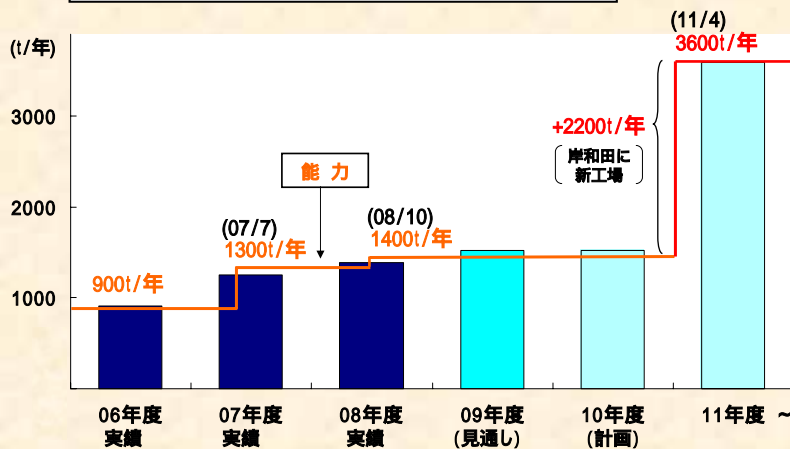
出典:レアメタルニュース etcより

42

(市場動向と当社の生産対応 - 多結晶シリコン - 当社の生産対応)

当社の生産対応

- ・ 08年度：フル生産
- ・ 09年度：フル生産
- ・ 能力増強工事（11/4より + 2200 t）計画通り推進中



43

結び (今後の事業運営)

現中期経営計画(07~09年度)

- ・ 当社の持つ高品質「チタンと多結晶シリコン」という環境対応型素材の成長性に対し 諸施策は実施
- ・ しかし 事業環境の大巾悪化により 業績目標は未達成(見込み)



新中期経営計画 (経済情勢を見極めた上で策定)

- ・ 高品質「チタンと多結晶シリコン」を事業運営の両輪として新たなる目標を設定の上 中期経営計画を策定し
更なる成長に向けて 再チャレンジ